

「KOSEN-1」明石高専など共同開発 高専衛星、来月1日 宇宙へ

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は10月1日、鹿児島県の内之浦宇宙空間観測所から小型のイプシロンロケット5号機を発射する。大学や企業に宇宙での実験機会を提供するプログラムの一環で、高知工業高等専門学校や明石工業高等専門学校など全国の国立高専10校が共同開発した衛星などを運ぶ計画。

この衛星「KOSEN-1」は重さ約3キで直方体のような形。木星から出る電波を捉える



長さ7㍎のアンテナを宇宙空間で展開、姿勢制御装置の機能などを確かめる。

このほか火山活動を監視する衛星（三菱重工業）、無重力実

イプシロン5号機のCG（JAXA提供）



高専生らが共同開発した衛星「KOSEN-1」（JAXA提供）

験を無人で行う衛星（帝京大）など、過去最多の計九つを搭載。人工衛星を使ったビジネスの活発化をにらみ、JAXAは小型で発射回数を増やしやすいイプシロンロケットによる衛星打ち上げの受注増を目指している。

5号機は直径2.6㍎、全長26㍎、重さ96ト。大型H2Aロケットの固体ロケットブースターを1段目に転用するなど、コストダウンを図った。

ただし、地元の鹿児島県肝付町は新型コロナウイルスの感染防止のため、打ち上げ見学などで町外から来訪しないよう求めている。

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

- ①宇宙航空研究開発機構（JAXA）は10月1日に、イプシロンロケット5号機をどこから発射しますか。

県の

- ②何を提供するプログラムの一環として行われますか。

を提供する

- ③ロケットで運ばれる高知工業高等専門学校や明石工業高等専門学校など全国の国立高専10校が共同開発した衛星の名前と特徴を書きましょう。

- ④ロケットには高専の衛星以外にどのような衛星を搭載しますか。

- ⑤JAXAはイプシロンロケットを使って何を狙っていますか。

を目標としている

- ⑤イプシロンロケットについて調べてみよう。